

## 第3回 ひのくにマスタース水泳競技長水路大会

### 開 催 要 項

- 主 催 熊本県水泳協会・熊本市水泳協会  
 主 管 熊本県マスタース水泳協会  
 公 認 社団法人 日本マスタース水泳協会  
 公認 番号 12-061  
 後 援 熊本日日新聞社（予定）  
 協 賛  
 期 日 平成24年7月29日(日) 午前8時30分開会  
 会 場 熊本市総合屋内プール(アクアドームくまもと) 50M×10コース  
 〒861-4136 熊本市荒尾2丁目1番1号 日水連公認番号 5614  
 電話 096-358-2711
- 参加 資格 1) (社)日本マスタース水泳協会へ大会申し込み日までに2012年度の登録  
 チームから個人登録を完了した者  
 2) 暦年令(大会開催年12月31日現在の年齢)18歳才以上の健康  
 な男女で定期的に競泳の練習をしている者。医師の健康診断又本人  
 の自己申告に基づき健康上異常がないこと。出場にあたり自己の体  
 調に留意すること。  
 3) 高校生には参加資格はありません。

#### (1) 実施種目

種 目	距 離	種 目	距 離
自 由 形	50・100・200・400 800(女子)1500(男子)	メドレーリレー	4×50m(200)
背 泳	50・100・200	フリーリレー	4×50m(200)
平 泳	50・100・200	混合メドレーリレー	4×50m(200)
バタフライ	50・100・200	混合フリー リレー	4×50m(200)
個人メドレー	200		

#### (2) 競技順序

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 200m 自由形      | 7. 4×50m メドレーリレー    |
| 2. 200m 背泳ぎ      | 8. 100m 自由形         |
| 3. 200m 平泳ぎ      | 9. 100m 背泳ぎ         |
| 4. 200m バタフライ    | 10. 100m 平泳ぎ        |
| 5. 800m 自由形(女子)  | 11. 100m バタフライ      |
| 6. 1500m 自由形(男子) | 12. 4×50m 混合メドレーリレー |

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 13. 400m 自由形       | 18. 50m 平泳ぎ      |
| 14. 200m 個人メドレー    | 19. 50m バタフライ    |
| 15. 4×50m 混合フリーリレー | 20. 4×50m フリーリレー |
| 16. 50m 自由形        |                  |
| 17. 50m 背泳ぎ        |                  |

(3) 種目制限

1. 個人種目は1人2種目以内とする。(但しリレーは除く)
2. リレーは各団体年齢区分クラスごと1チームに限る。また個人は同一リレー種目に複数の年齢グループから出場することは出来ない。
3. リレー種目出場者は必ず個人エントリーしたものであり、エントリーしたクラブからの出場に限る。
4. 400m以上(標準記録あり)の個人種目は、デッキシーディング競技とする。

(4) 年齢区分

1. 個人種目は競技者の暦年齢(大会開催年12月31日現在の年齢)により次の年齢区分によって行われる。以降同様に5歳ごとにする。

グループ	18	25	30	35	40	45	50	55	60
年 齢	18	25	30	35	40	45	50	55	60
	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	24	29	34	39	44	49	54	59	64
グループ	65	70	75	80	85	90	95	100	
年 齢	65	70	75	80	85	90	95	100	
	~	~	~	~	~	~	~	~	
	69	74	79	84	89	94	99		

2. リレー種目は競技者の4名の暦年齢((大会開催年12月31日現在の年齢)の合計により次の年齢区分によって行われる。以降同様に40歳ごとにする。

グループ	119	120	160	200	240	280	320	360	400
年 齢	119	120	160	200	240	280	320	360	400
	才	~	~	~	~	~	~	~	以上
	以下	159	199	239	279	319	359	399	

(5) 競技方法

1. 全て男女別.年齢グループ別.タイムレース決勝とする。
2. (社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則って行う。(一部抜粋)
  1. スタートについて(背泳ぎを除く)
    - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、台下(プールデッキ)、水中(プール壁)の何れからでもできる。
    - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台(台下)に上がった競技者は、スタート台(プールデッキ)前方に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。
    - c. スタート台または台下からスタートする競技者が、審判長の長いホイッスルによ

りスタート台前方または前縁に出た時に、誤ってプールに落ちた競技者は水中からスタートするものとし、失格にはならない。ただし、出発合図員の「用意」の号令の後に落ちた場合は、フォルススタートしたと見なされ失格となる。

- d. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルによって水に入り、直ちにスタート用グリップを片手又は両手で持ち両足を壁につける。

## 2. 背泳ぎ

背泳ぎの泳法には両手同時ストロークと、同時キックを併用することが出来る。

## 3. バタフライ

- a. バタフライのキックは、平泳ぎのキックでもよく、又バタフライキックを併用することも出来る。
- b. スタートおよび折返しの後、身体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに頭は水面上に出なければならぬ。また、次の折返しあるいはゴールまでは、競技中の1ストロークの動作中に、身体の一部が水面上に出なければならない。ただし、1ストロークの動作中に水没した状態での泳法は認められない。
- c. 全て足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、左右同時でなければならない。一かきに一回の平泳ぎの足のけりは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足のけりが許される。(MSW. 10)

4. リレー種目の第1泳者の途中時間は公認記録とならない。また1500m自由形における800mの途中時間も公認記録とはならない。

## (6) 表彰

1. 参加者全員に(社)日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与する。
2. 男女別、種目別、年齢別に、個人種目1位、リレー種目1位にメダルを授与する。また、各種目(年齢区分ごとリレーも含む)3位まで表彰する。
3. 2012年マスターズ水泳日本記録を突破した者には、日本新記録樹立証を授与する。
4. 国際水泳連盟(FINA)公認マスターズ水泳世界記録を突破した者に世界記録突破証を授与し、その記録をFINAに申請する。

## (7) 申込方法

1. 規定の個人票に必要事項を記入し、チームごとに締切日時迄に申込みこと。
2. 一覧表、個人票、リレーオーダーなどは(社)日本マスターズ水泳協会の所定用紙を使用すること。また、大会申込書と誓約書をA4用紙に記入印刷し添えて申しこむ。
3. 個人票と一覧表の申し込み種目が異なる記入をされている場合は、個人票に書いてあるほうを優先します。

熊本県マスターズ水泳協会ホームページ (<http://kumamoto-swim.com/>) よりダウンロードした申し込みデータを入れたフロッピーディスクを添えて申し込んでください。エントリーデータのみメールのときはFDの郵送は不要です。

エントリーデータのみ下記メールアドレスでも受け付けます。

E-mail : [info@kumamoto-swim.com](mailto:info@kumamoto-swim.com)

#### 4. リレー申込み

所定のリレーオーダー用紙に、チーム名・種目・出場選手の名前・年齢等の必要事項を記入し、リレー1種目につき個人票1枚をつけてオーダー用紙を裏に貼り申し込んでください。オーダーの届出は、申込み時(申込み締切日)です。

#### 5. リレーオーダーについて

※当日のオーダー変更は申込み年齢区分内では可能です。

※変更の受付は大会総務に提出して下さい。

※年齢区分の変更は出来ません。

※ 午前の部・午後の部とも午前8時20分迄(時間厳守)に変更票の提出をして下さい。変更したリレーオーダー票と個人票1式も提出してください。

#### (8) 参加料及び振込方法

1. 個人(1種目1,500円) ただし800M・1500M(1種目2,500円)  
リレー(1種目2,000円)

2. 参加料は郵便振込みを利用して下さい。申込書に振込み控えのコピーを必ず貼付して下さい。郵便振込用紙には、チーム名も記載してください。

郵便振込	口座番号	01940-8-33736
	加入者名	熊本県マスターズ水泳協会

3. プログラム 1部 500円 (当日700円)  
プログラムの無償配布はしません。必ずご予約をお願いします。
4. 速報 1部 1,000円 (送料込み)

#### (9) 申込み締切日

平成 24年 6月 20日(水) 午後5時必着のこと。

申込み締切後の受付及び変更は認めない。

#### (10) 申込み先及び問い合わせ先

860-0073	熊本市島崎4-7-1の604
	熊本県マスターズ水泳協会
	競技委員長 緒方一茂
携帯	080-3982-0045(9時~21時)

#### (11) その他

1. 参加者の傷害等については、会場における応急処置以外はすべて、参加者の責任において処置すること。
2. 会場の美化整理については、各クラブで対応すること。
3. 申込書などに記載されました個人情報につきましては、競技会運営を円滑に行うために必要なものだけに使用し、その他の目的には使用しません。尚競技結果などがホームページ上に公開されますが予めご了承ください。

## ひのくにマスタース水泳競技長水路参加標準記録

女 子	400m 自由形	800m 自由形	
24 才以下	6 分 30 秒 00	16 分 00 秒 00	
25～29 才	6 分 30 秒 00	16 分 00 秒 00	
30～34 才	6 分 30 秒 00	17 分 00 秒 00	
35～39 才	6 分 40 秒 00	17 分 00 秒 00	
40～44 才	6 分 50 秒 00	18 分 00 秒 00	
45～49 才	7 分 00 秒 00	18 分 00 秒 00	
50～54 才	7 分 10 秒 00	19 分 30 秒 00	
55～59 才	7 分 30 秒 00	19 分 30 秒 00	
60～64 才	8 分 00 秒 00	21 分 00 秒 00	
65～69 才	8 分 30 秒 00	21 分 00 秒 00	
70～74 才	9 分 30 秒 00	22 分 30 秒 00	
75～79 才	10 分 30 秒 00	22 分 30 秒 00	
80～84 才	11 分 30 秒 00	25 分 00 秒 00	
85～89 才	12 分 30 秒 00	25 分 00 秒 00	
90～94 才	15 分 00 秒 00	28 分 00 秒 00	
95～99 才	18 分 00 秒 00		
100 才以上			

男 子	400m 自由形	1500m 自由形	
24 才以下	5 分 50 秒 00	30 分 00 秒 00	
25～29 才	5 分 50 秒 00	30 分 00 秒 00	
30～34 才	5 分 50 秒 00	32 分 00 秒 00	
35～39 才	6 分 00 秒 00	32 分 00 秒 00	
40～44 才	6 分 10 秒 00	34 分 00 秒 00	
45～49 才	6 分 20 秒 00	34 分 00 秒 00	
50～54 才	6 分 30 秒 00	37 分 00 秒 00	
55～59 才	6 分 50 秒 00	37 分 00 秒 00	
60～64 才	7 分 10 秒 00	40 分 00 秒 00	
65～69 才	7 分 30 秒 00	40 分 00 秒 00	
70～74 才	8 分 30 秒 00	43 分 00 秒 00	
75～79 才	9 分 45 秒 00	43 分 00 秒 00	
80～84 才	11 分 00 秒 00	48 分 00 秒 00	
85～89 才	13 分 00 秒 00	48 分 00 秒 00	

90～94 才	15 分 00 秒 00	55 分 00 秒 00	
95～99 才	18 分 00 秒 00		
100 才以上			

※

- 1、400m・800m・1,500m の種目には参加標準記録があり、この記録を超過したタイムでのエントリーはできない。
- 2、800m・1,500m の出場選手数は各 30 名とする。ただし、出場希望選手多数の場合は抽選にて選手を決定する。ただし抽選にもれた選手は、別の種目に変更できる。
- 3、参加標準記録を突破できなかった選手は、メダルの授与は行わない。  
またある泳者の競技継続が、競技の進行を時間的(1500m で 5 分以上 800m で 3 分以上)に著しく妨げると大会委員長が判断した時は、競技中でもその泳者の競技中止を行うことがある。

水着に関する取り扱いについて

☆ 国内で行われる本協会公式・公認競技会では、水着の規定が次の通りとなります。

- 1、FINA の水着規定変更に合わせて、平成 22 年 6 月 1 日以降、FINA への世界新記録の申請、日本新記録の公認については、有効な FINA 公認マークが付いた水着を着用して泳いだ記録のみを対象とする。(水着の確認がある)
- 2、素材については、繊維を中心とした水着とする。ラバー及び大きなパネルが貼ってある水着は、禁止とする。
- 3、形状については、水着が身体を覆う範囲を次の通りとする。
  - ① 男子はへそを越えず、膝までとする。
  - ② 女子は肩から膝までとする。ただし、首、肩を覆うことはできない。  
形状の規定は、平成 23 年 4 月 1 日より適用する。
- 4、平成 23 年 4 月 1 日以降も、FINA の承認を受けていない水着でも使用可能とする。(ただし、素材、形状については、上記 2 項、3 項を守ること)